



教えて!JA

農業に関する質問にお答えします!



A Q

カリフラワーの栽培法を教えてください。

カリフラワーの生育適温は15℃といわれ、耐暑性、耐寒性のある野菜です。夏まき・秋冬取りが一年で最も作りやすい時期で、温暖

地では7月中旬～8月下旬が種まき期です。

【苗作り】直径7.5～9cmのポリポットを使い1ポット当たり4～5粒をまき、子葉展開時に密生部を間引き、本葉2～3枚で1株に間引き、本葉5～6枚まで育てます。128穴のセルトレイでは1穴2粒まき、間引いて本葉3～4枚まで育てます(図1)。育苗期間中は、防虫ネットのトンネル被覆で害虫の飛来を防ぎます。

【畑の準備】植え付け2週間前に、1㎡当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。1週間前に畝幅70～80cm、深さ15～20cmの溝を掘り、この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100g程度と堆肥2kgを施し、土を戻してよく混ぜて畝を作ります(図2)。

図1 苗作り



図2 畑の準備

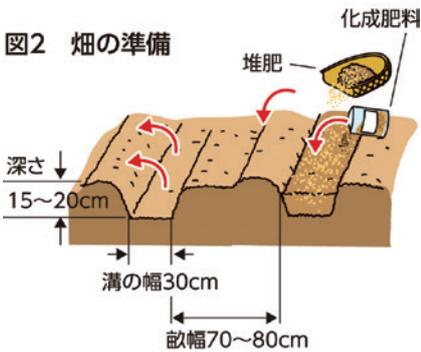


図3 植え付け

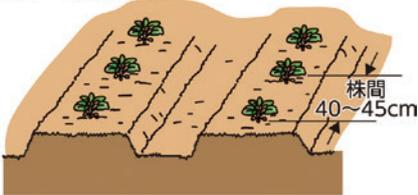


図4 追肥

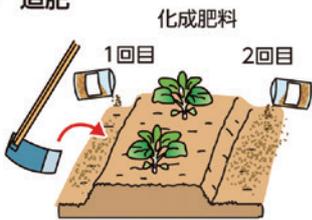


図5 日よけ



図6 収穫



ワンポイントアドバイス

ヨトウムシ、コナガなどが多いので「トアロー水和剤CT」などで病害虫を駆除しましょう。



中主営農経済センター
営農購買課
東郷 政博

【植え付け】本葉5～6枚の頃、株間40～45cm程度に植え付けます(図3)。植え傷みが起こらないように、植え穴には十分な水を注いでおきましょう。

【追肥】植え付け20日後ごろに畝の片側に化成肥料を畝1m当たり50gくらいまいて、土寄せします。その20日後ごろに畝の反対側に同量を施用します(図4)。

【収穫】花蕾が見えたら、花蕾に日焼けや汚れが付かないように、外葉の1～2枚を内側に折って花蕾に載せます(図5)。花蕾が12cm以上の大きさになり、つぼみの表面が緻密なうちに、外葉を6～7枚付けて切り取ります(図6)。